

Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 29 卷第 3 号 (通巻 86 号)

2025 年 12 月 10 日

音韻論フォーラム 2025 報告

去る 8 月 26 日～27 日、音韻論フォーラム 2025 が中央大学 (多摩キャンパス) とオンラインにて開催されました。海外研究者による基調講演 3 件 (Péter Szigetvári 氏、Bert Vaux 氏、James Whang 氏)、学位取得者講演 2 件 (浦底理恵氏、高城隆一氏)、一般研究発表 13 件の他、言語系学会連合との共催企画「生成音韻論の'現在'：日本語研究の最前線から」が行われました。

今回のフォーラムも、会場とオンラインのハイブリッド開催となりました。会場参加、オンライン参加を合わせ、約 90 名の参加がありました。第 1 日プログラム終了後、中央大学近隣で懇親会が開かれました。開催に際してご尽力いただいた関係者の皆様に、改めてお礼申し上げます。

来年以降に向けて、ご協力のほどよろしくお願いします。

2026 年度春期研究発表会について

2026 年度春期研究発表会を 2026 年 5 月 16 日～17 日、東京外国语大学とオンライン (Zoom) のハイブリッドで開催いたします。今年度より 2 日間の開催になります。会員の皆様には、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。プログラムなどの詳細は 2026 年 4 月上旬にメールでお知らせいたします。

2026 年度春期研究発表会発表募集

上記の 2026 年度春期研究発表会での研究発表を、下記の要領で募集します。ぜひ皆様の日頃の研究成果のご発表にご活用ください。

本研究発表会での発表内容は、編集委員会による査読を経て、『音韻研究』第 30 号 (2027 年 3 月、開拓社から刊行予定) に掲載されることになります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、原則として 8 ページです。

〈応募要領〉

発表テーマ：音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語：日本語または英語。

発表形態：一般発表 (口頭・ポスター)

参加形態：対面・オンライン

送付方法：いずれの発表形態の場合も発表者情報および要旨 (pdf ファイル) を発表応募フォームより送信すること。

応募資格：会員のみ応募可能。ただし共同発表の場合は筆頭発表者が会員であればよい。

応募件数：同一発表者による応募は 2 件以内とし、このうち筆頭発表者としては 1 件とする。

- (1) 「発表者情報」は、発表応募フォームの所定の欄に情報を入力する。
- (2) 「要旨」にはタイトルと発表要旨のみを記入する (氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2,000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。ページを改め、参照文献一覧を 1 ページ以内で示す (参考文献一覧は文字数に含まない)。PDF ファイルとして書き出したものを発表応募フォームから提出する。

発表応募フォームからの提出が困難な場合は、事前に担当理事に連絡すること。

書式：A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り：2026 年 3 月 13 日 (金)

発表応募フォーム: <https://forms.gle/qh2vMR53G3KJCbaC9>

応募に関する問い合わせ先：劉莎 (春期研究発表会担当理事)

E-mail: liu[at]fit.ac.jp

*[at]を@に置き換えてください

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意下さい。

4 月 3 日 (金) 頃に採否を通知予定です。

音韻論フォーラム 2026 予告

2026 年度のフォーラムは金沢大学角間キャンパスとオンラインのハイブリッドで行う予定です。

期日：2026 年 8 月 25 日 (火) ～26 日 (水)

会場：金沢大学角間キャンパス + オンライン

研究発表の募集、海外研究者、学位取得者の講演などにつきましては、2026 年度初頭に発行予定の次号 Newsletter で改めてお知らせいたします。

学生会員会費変更について

学生会員のさらなる増加を目的として、2026 年度から学生会員の会費を 3000 円 (現行 4000 円) に値下げすることになりました。この機会に、周囲の方々に入会をお勧め下さいましたら幸いです。なお、一般会員と維持会員については会費の変更はございません。

シルバー会員制度制定

2026 年度からシルバー会員制度を開始することになりました。年度開始時点で満 64 歳以上で、その前年度まで 10 年以上継続して会費を納入した会員を対象とします。手続きの詳細については、今年度末までに学会ウェブページ・会員メール等でご案内差し上げます。

学会発表賞について

本学会では若手会員の研究を奨励し、学会全体の学術水準の向上を図るために、2025 年度より「日本音韻論学会大会発表賞」を設けました。発表賞は、学部生・大学院生（年齢制限なし）または 40 歳以下の会員を筆頭かつ主たる発表者とする大会の口頭発表またはポスター発表のうち、特に優れていると認められた発表に対して授与するものです。発表のご応募をお待ちしております。

発表賞選考委員会で協議した結果、2025 年度大会発表賞を以下の発表に授賞することが決まりました。

Makoto UMENO (The University of Osaka)
The Inner Workings of [H] and Structural Differences in
[H]-Languages
(2025 年度音韻論フォーラムでの発表)

旅費の補助について

本学会では、若手研究者への支援を目的として、研究発表会やフォーラムの遠隔地からの発表者、かつ非有職者（学生や非常勤講師等）の会員を対象に旅費の補助を行います（一人上限：国内 2 万円、海外 5 万円）。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。希望される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表にご応募下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20 周年記念論文集』（2016）についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

また、勤務校の研究室・図書館などに、もう 1 冊、研究費等による『音韻研究』の定期購入を御検討のほどよろしくお願ひいたします。

開拓社出版部

〒112-0003 東京都文京区春日 2-13-1 芳文堂ビル 6F

TEL: 03-6801-5651 (代表)

FAX: 03-6801-5663

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営しております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち 4,5 は、それぞれ 2024, 2025 の各年度の会費が未納であることを意味します。アステリスクは会費納入済みであること、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、t は thousand の意味で、[5t] とあれば 5,000 円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*5[5t]」と印字されていれば、2025 年度の会費が未納であり、その総額が 5,000 円であることを意味します。

ご確認の上、未納の会費を以下のとおり郵便振込で納入していただきますよう、お願ひいたします（『音韻研究』送付時に学会名および口座番号印字の振込用紙を同封いたしますのでご利用ください）。

郵便振込

口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会
他行から：ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）当座 0402077
年会費 維持会員：10,000 円
通常会員：5,000 円
学生会員：4,000 円

「維持会員」の申請方法が明確化されました。維持会員は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費 1 万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。維持会員をご検討、ご希望の方は事務局会計までご連絡ください。維持会員の申請が執行部で承認されましたら、追って当年度の維持会費 ¥10,000 の請求書をお送りします（メール添付にて）。正式な維持会員の承認は当年度末までに開かれる理事会でなされることになります。

また、会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず事務局会計にご連絡下さい（学生会員から通常会員へ変更となる場合なども必ずご連絡下さい）。連絡されないままにされますと、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配達されませんのでご注意願います。

～～～日本音韻論学会事務局～～～

【事務局長】

橋本大樹（上越教育大学）
〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1
上越教育大学
TEL : 025-521-3327
E-mail: daiki[at]juen.ac.jp

【会計】

植田尚樹（東京外国语大学アジア・アフリカ言語
文化研究所）
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国语大学アジア・アフリカ言語文化研究所
TEL : 042-330-5655
E-mail: ueta_naoki[at]aa.tufts.ac.jp

【書記】

大沼仁美（東北学院大学）
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
東北学院大学 文学部
E-mail: honuma[at]mail.tohoku-gakuin.ac.jp
※E-mail アドレスは、[at]を@に置き換えてください。

日本音韻論学会ウェブサイト : <http://www.phsj.jp>

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～